



# おだ かつひさ PRESS

〒216-0003  
川崎市宮前区有馬6-6-1 五十嵐ハイツ102号  
TEL & FAX : 044-856-5456  
E-mail:oda@odakatsu.com  
URL http://odakatsu.com/



川崎市議会議員(宮前区)  
おだ かつひさ

## 「認知症カフェ」の積極的な活用を進めよう

### 認知症への理解と共感を深めるために

日々の生活にサポートが必要な認知症の高齢者は増加の一途をたどっています。川崎市における推計では、2015年現在で29900人、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には43600人と予測されています。国の推計では、25年には65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が罹患する計算です。

国は15年に「新オレンジプラン」を策定、5か年計画で「認知症施策推進」のための「7つの柱」と目標値を明らかにしました。その1つ「認知症の人の介護者への支援」の一環として、地域の実情に応じ「認知症カフェ」を積極的に実施、活用することが示されました。

●まず、「認知症カフェ」のガイドラインの策定から

「認知症カフェ」は、当事者と家族を支える新しい心のよりどころとして、また地域の人や専門家などと相互に情報を共有し、お互いを理解し合う貴重な場となります。

当事者の希望があれば、カフェの運営に参画でき、当事者同士のつながりと生きがいづくりへの支援が可能です。

さらに、初期段階の認知症の人に対して、家族の介護負担を軽減し、また地域で生活を続けていくためには、「早期診断、早期適切医療提供」が重要です。「カフェ」を活用することで医師などの専門家が適切に地域の医療機関に当事者をつなぐ役割が期待できます。

現在、市内で40か所程度、開催されています。地域包括支援センターを中心に、町内会自治会や社会福祉協議会などのご尽力により運営されています。担い手の高齢化と運営資金の確保、さらには、医師、看護師などの専門家がなかなか参

加できないことなど課題は山積しています。

国は、未だに「認知症カフェ」の開設、運営に関するガイドラインなどを明らかにしていません。川崎市においても、早急に「認知症カフェ」の実態調査を進めること。そして、市からの補助のあり方を含め、川崎市独自のガイドラインの策定に向けて、当事者と議論を進めています。

## おだ かつひさ (織田 勝久) プロフィール

- ◆1961年、川崎市幸区生まれ。  
駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業(地方自治、都市政策専攻)
- ◆国会議員秘書を経て、2003年川崎市議会議員初当選。  
現在4期目。市議会総務委員会委員長、健康福祉委員会委員長、議会運営委員会副委員長、市議会政策担当者会議メンバー等を歴任。現在、文教委員会委員。
- ◆民進みらい川崎市議団団長、ボーイスカウト川崎第54団所属、宮前区少年野球連盟顧問、宮前区ゲートボール協会顧問、原水禁川崎市連事務局長。
- ◆尊敬する人物/ケネディー元アメリカ大統領
- ◆好きな作家/司馬遼太郎、宮城谷昌光
- ◆妻、二男(22才と18才)の4人家族。有馬在住。

ご意見・ご要望お待ちしております

e-mail  
FAX  
URL

oda@odakatsu.com  
044-856-5456  
http://www.odakatsu.com/